

はしがき

本論文集は、3部から構成されている。

第1部は、国際総合科学部人間科学コース「コミュニケーション論演習」の第5期卒業生10名の卒業論文要旨と参考文献リストである。たがいがたがいの研究に興味を持ち、敬意を払い、切磋琢磨しながら、論文を仕上げていくととてもすがすがしい集団であった。そして、それぞれの個性が十分に発揮された興味深い卒業論文が完成したことをうれしく思います。健康にはくれぐれも留意してください。ご活躍をお祈りしています。

第3部は、3年生の個人研究論文となっている。各自の興味に応じて研究を進めた成果である。興味のある事柄を学問的な問いの形に変え、研究を実行し、他者にその成果を伝えるのは、たやすくできることではない。団結力と勢いのある3年生は、お互いのサポート、助言によって、この困難を軽やかに乗り越えたように思う。この調子で、卒業論文も頑張りましょう。

第4部は、2年生のグループ研究論文となっている。中村桃子編(2010)『ジェンダーで学ぶ言語学』を踏まえて、研究テーマを設定し調査を進めた成果である。調査をすることも論文を書くことも初めての体験で苦労も多かったと思うが、2年生のまじめさがいかんなく発揮され、丁寧な研究に仕上がっている。これからも楽しみながら勉強していきましょう。

2013年3月

佐藤響子
横浜市立大学国際総合科学部

連絡先：横浜市立大学国際総合科学部 佐藤研究室
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2
ksatoh@yokohama-cu.ac.jp

～目次～

第1部 卒業論文要旨・参考文献

1. 言葉は誰が支配するのか：
ジェンダー・ディスコースの時代変化の比較検証 植松 慧
2. 関連性理論による文末が省略された発話に関する分析 加藤咲子
3. 批判的談話分析：「コンプガチャ」問題の新聞記事を読み解 澤谷郁巳
4. コミュニケーションツールの多様化が対人コミュニケーションに
もたらした影響：大学生の携帯電話・スマートフォンの利用状況
とインタビューによる分析 新村未央
5. どうして人は呟きたいのか 鈴木佳菜子
6. 「うまい」司会とは何か：テレビトーク番組の司会者を比較して 平井咲子
7. マニュアル敬語はなぜなくなるのか 平野拓也
8. 言葉と文化はどのように影響し合っているのだろうか：
俳句の翻訳を通じて 福島 舞
9. 書籍における助数詞の使用方法の変化 丸尾美典
10. 中学校の外国語科において4技能(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)を
総合的に育成するためにはどのような授業を展開したらよいか 宮崎敬人

第2部 3年生個人研究

1. 「妖怪」は話し方に規範を持つのか：
役割語を用いた絵本キャラクターの話し方の分析 板垣皓子
2. 「上から目線」の正体 伊東貴寛
3. シンデレラのお話によって形成される女性像 伊藤千鶴
4. 無言の世界が人々を魅了する理由：
表情に注目してサイレント映画のストーリー理解度を探る 井上佳純
5. 新聞広告における比喩表現の役割 梶川 優
6. 『ザ・マジックアワー』にみる「笑いのパラレル・ワールド構造」 曾我部萌子
7. 結末を予想しにくい物語構造とは：
星新一のショート・ショートを用いて 中村夏子
8. 洋画における翻訳字幕映画：
PIRATES of the CARIBBEAN -the curse of the black pearl 中村芽衣
9. SHARP な製品プレゼンテーション 沼田敬輔
10. 美容整形とジェンダー 濱本有希

11. なぜスポーツの試合中にコミュニケーションがとれるのか? 星 一輝
12. ニコニコ動画における視聴者間の一体感について 峰村沙希
13. 「皮肉」と日常に潜むディスコミュニケーション 若松 遼

第3部 2年生グループ研究

1. 最近のドラマにおける20代女性キャラクターのことばづかい
. 徳永志保・鳥羽野友里・鍋田奈穂
2. ドラマ内の喧嘩シーンにおける女性の言葉づかい
. 阿部麻友子 近者佑香 高木知恵
3. 魔法少女アニメから見るジェンダー表現の年代別比較
. 青山沙織・西脇里紗・馬場信帆
4. 日本人の名前の分析 小池菜月 高橋和土 高橋良彰 森下真凜